発行／第三企画株式会社
発行責任者／久米 信廣
編集者／牧田 司
http://www.dai3.co.jp

Club-D newsletter
Club-D
Dream Dramatic Dynamic
2009 12/5
vol. 1

12年前の忘れ物を取り戻した

ミサワホーム東京神奈川 クラブDカップ 初戴冠

オープンハウス勝機逸す

東京ドーム　11月18日（水曜日）

オープンハウス	000000	0
ミサワホーム東京神奈川	00201X	3

宙に舞うミサワホーム東京神奈川渡邊監督

※クラブD（クラブ第三）とは、
（1）日々の社業を通じ自らの可能性を広げることをもって社会に貢献するために
（2）自らのため、また自分以外の人間のために行動する能力を開発するために
（3）自らの行動能力強化をもって社会としての潜在能力開花の起爆剤となるために
スポーツを通じた人間交流をもって、精神の陶冶を目的に設立されたクラブである。その主たる活動が今回のクラブD杯（年、春・秋の二回開催）である。

清水投手 制球力冴え完封

「クラブ第三」第1回野球大会はミサワホーム東京神奈川が優勝―第三企画は、日頃の皆様のご愛顧に応え、お客さま―「クラブD」の会員みなさまが野球を通じて他の会社の野球人と交流し、親睦を深めていただくために「第1回 クラブD カップ 野球大会」を企画・開催。9チームが参加し、決勝戦を11月18日（水）東京ドームで行った結果、ミサワホーム東京神奈川がオープンハウスを3―0で下し優勝しました。次回大会は来春の予定。

藤原　本盗を決める

ミサワホーム東京神奈川が初の大会で優勝を飾った。オープンハウスは試合を優位に進めながら決定打を欠いた。総勢約300人の大応援団の歓声はため息に変わった。

ミサワホームは3回裏、四球と敵失の無死1、3塁のチャンスから3番松本のチーム初安打となる適時2塁打でまず1点。更に2死後、敵失で1点を追加した。

5回裏には、四球と盗塁、安打で3進した1番藤原が、相手投手の代わり端にホームスチールを成功させてダメ押し点をあげた。

第9回のRBA野球大会でノーヒット・ノーラン試合を達成したこともある清水投手(41)は、6回を4安打完封。

オープンハウスは悔やまれる敗戦。試合を優位に運びながら、あと1本が出なかった。

力投する清水投手

渡邊監督

藤原選手

オープン		席	打	安	点
⑥	梅木	3	3	1	0
⑨	木元	3	3	0	0
⑦	平賀	3	3	0	0
DH1	荒井	3	3	1	0
③	町田	2	2	1	0
②	仲條	2	2	1	0
⑤	石井	2	2	0	0
④	渡辺貴	2	2	0	0
⑧	合津	2	2	0	0
振球橋					
500		22	22	4	0

ミサワ		席	打	安	点
⑦	藤原	3	1	0	0
⑧	梅山	3	2	0	0
⑥	松本	3	2	2	1
④	小林克	3	3	0	0
③	田中	3	2	0	0
⑨	馬場	2	2	0	0
⑤	名取	2	1	0	0
②	鈴木	2	2	0	0
①	清水	2	2	0	0
振球橋					
860		23	17	2	1

投手	回	安	振	球	責
北原	4	1	2	7	6
荒井	0	2	0	1	0
清水	6	4	5	0	0

2塁打　松本 仲條 梅田
失策　オープン1　ミサワ0
併殺　ミサワ1

2回、この回先頭の4番荒井（社長）が中堅前安打を放ち、続く5番町田のゴロは1塁正面に飛び、荒井は2塁封殺。6番中條が左中間2塁打を放ったが、後続が凡退。3回も1死から1番梅田が2塁打を放ったが得点できなかった。

創価大から日ハムに入団した八木投手の1歳下だった北原投手は7三振を奪いながら6四死球を与えたのが痛かった。最終回に急きょ登板した荒井投手は、一瞬の隙を衝かれた。

○渡邊監督　12年前の忘れ物（RBA決勝戦で旭化成ホームズに敗れた）を取り戻した。このような大会を企画していただいて感謝している

○清水投手　10年来出来なかった投球。コントロールがよかったし、みんなよく守ってくれた

○藤原選手　相手投手は全然警戒していなかった。今年2回目の成功（RBA野球大会では通算3回成功させている）

●荒井社長　野球少年に戻ったときのように楽しませていただいた。企画に感謝したい。相手は緻密な野球をやる

●佐藤監督…（涙ぐみ悔しさをにじませていた）

ミサワホーム東京神奈川ナイン